

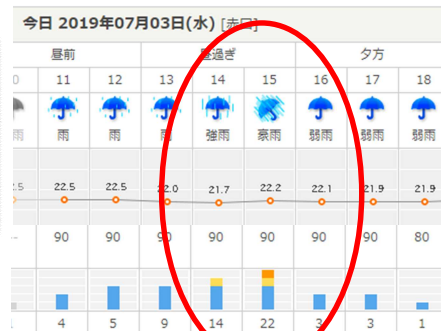


学校だより

碩愛

No. 23

R元.7.3 発行



雨天時、ここを気を付けて！

本日、7～9年生も下校時刻を13時過ぎとします。校区内の時間雨量は15時ごろから、雨の音で声が聞こえづらくなるとされる20mmが予想されています。安全第一です。特に次の事に気を付けて帰しましょう。

- *縦一列に並んで、2～3メートルの間隔をあけて歩く。
- *おしゃべりしたり、横に広がったりせずに歩く。
- *寄り道をしない。
- *足元ばかりに気を取られない。
- *決められた通学路を通る。
- *傘を振りまわすなどのふざけた行動をとらない。
- *交差点では、必ず一旦停止して左右の安全を確認する。
- *もうすぐ赤になりそうだったら次の青信号を待つ。
- *水があふれ出ている側溝やマンホールに近づかない。
- *真っ黒い雲が急に空全体に広がったら雨宿りをする。
- *川の様子を見ようとして身を乗り出さない。
- *危ないと思ったら、近くの家やお店に助けを求める。
- *車が近づいて来たら歩道の端に身を避ける。
- *車を先に通す。(残念ながら、歩行者優先を守らない運転者もいる。自分の命は自分で守る！)
- *帰宅後は自宅にいる。(外に遊びに出ない。)

安全はみんなのために…

繰り返しお願いがあります。「送迎の車がめいわく駐車して危険だ！」とのお怒りの

電話があとを絶ちません。お願いだから、どうかお止めください。

送迎をされる保護者の方が、お子様の安全を願う気持ちはよく理解できます。しかし、ヒヤリとかハッとさせる事案が発生していて、こうした状態では、いつか必ず本当の事故につながってしまいます。具体的には、次のような危険な事案が頻繁に発生しているのです。

- ◆登校時に東門前の横断歩道の前で車を止め、降りた児童が横断歩道でないところで左右の安全を確認せずに急に道路を横切るために、対向車が急ブレーキをかけ、後続車が追突しそうになる。
- ◆校舎南側の市道で右側に駐車する車が数珠つなぎになり、後方確認が不十分なまま発信しようとして、後続車が追突しそうになる。そもそも、右側駐車は道路交通法違反です。
- ◆南側の道路で登校時に多くの車が停車し、他の通行の妨げになる。それだけでなく、車と車の間から子どもが飛び出したり、右側のドアから降りてきたりして後続車と接触しそうなる。
- ◆道路の右側・左側の両側に車が停まっていて、他の通行車両の妨げになっている。

送迎しているあなたの車が事故を起こしてしまったら、あるいは迷惑駐車が原因で他の車が事故を起こすことになったら、どうなされますか。道路は公共の場です。うちがよければ…ということには決してなりません。恥ずかしいことです。この状態が続くなら、心外ですが警察に取り締まりをお願いせざるを得ません。お子さまにせがまれたとしても、ダメなものはダメです。

交通事故に遭わないように気を付けて道路を歩くことも大切な社会勉強です。危険であることを学んでこそ、注意力も備わるのではないのでしょうか。気を付けるべきことをきちんと守れば、安全に通行できます。子どもの甘えによって、学ぶべき機会を奪ってはなりません。安易に同調するのではなく、大人として、親として、安全に登下校できる力をつけられるよう、ぜひ一緒に考えてあげてください。

お子さまがケガをしているなどの理由で、徒歩での自力通学ができないようであれば、もちろんお車で送迎されて結構です。北門から一旦駐車場内に入れていただいて、1階の職員・業者通用口からインターフォンでお知らせください。その際、特にお帰りの時間帯は、門壁の陰になって歩道側の小さな子どもが見えなかったりするので、駐車場から出るときに必ず一旦停止して安全確認をしてください。

